

# ★ SSBにFMに最適変調度を!!

## AM-501 固定用 — 実用新案申請中 —

### コンプレッサーマイクロホン

コンデンサーマイク+コンプレッサーアンプ+電子スイッチ

AM-501は、HF、VHF、UHFいずれの送信機にも使用出来、歪のない音で、常に最適な変調度を保つための必需品です。



#### AM・501仕様

- ・コンデンサーマイクロホン：IC内蔵広帯域型
- ・トランジスタ……………8石
- ・ダイオード……………1石
- ・IC……………1石
- ・出力電圧：2mV~100mV
- ・負荷適合インピータンス：600Ω~100KΩ
- ・コンプレッサーレベル：50db以上 (High)
- ・電池：単3×2 (DC3V)
- ・消費電流：送信時……………7mA  
受信時……………2mA
- ・スイッチ方式：電子ロック
- ・外形寸法：86(W)mm×110(D)mm×30(H)mm  
7mmφ×250mmフレキシブルパイプ
- ・重量：450g

定価 ¥9,800

#### ★ 特 徴 ★

##### ◎高性能コンプレッサーアンプ内蔵

ささやくような声も、破れるような大声も、常に一定の出力レベルで送信出来ます。FMナローバンド化にも欠かせません。FMで最適変調度を、SSBで最高能率のパワーでQSOを約束します。

更にコンプレッサーレベルは外部スイッチにより2段 (LOW.HIGH) に切換えられます。

##### ◎電子スイッチの採用 (送信インジケータ付)

キーボードスイッチの採用によりタッチが軽く、寿命は半永久的、送受の切換時の不快な音がありません。受信時はLEDが薄く送信時にはLEDが明るく点灯します。

##### ◎高感度コンデンサーマイク・フレキシブルパイプ使用

マイクは高感度、広帯域コンデンサーマイクを採用し、スタンドパイプは特別設計のフレキシブルパイプ (7φ) を採用していますので、使用感がFBです。

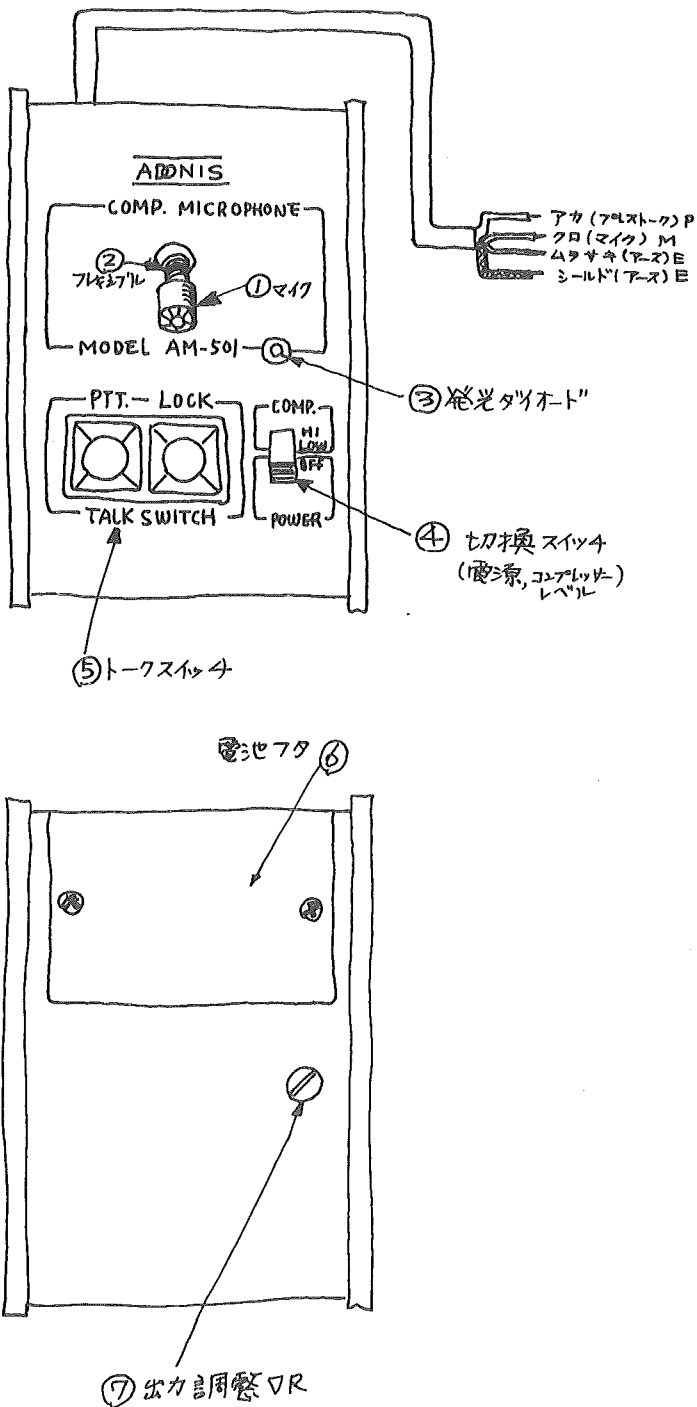
## アドニス電機

# ADONIS

〒573-01 大阪府枚方市磯島茶屋町15-18-14 TEL0720-58-3352

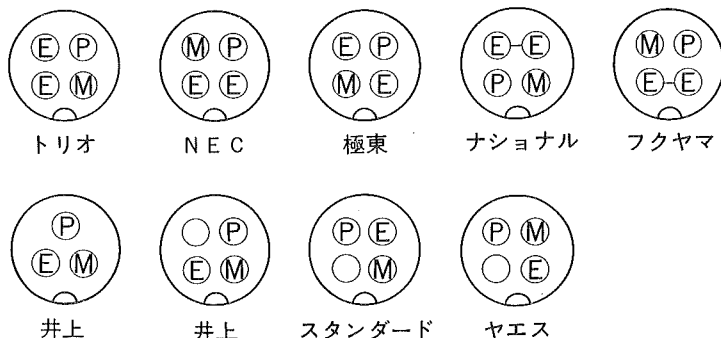
(通販部) 大阪府枚方郵便局私書箱40号

# AM-501取扱説明書



## 1. (準備)

- ① 出力コード(8)にコネクターをハンダ付けして下さい。結線は下図を御参考下さい。
- ② 裏面電池フタ(6)のネジをはずし、単3を2本挿入して下さい。
- ③ コネクターをリグに装着して本機の切換スイッチ(4)をCompにスライドして下さい。その時発光ダイオードが薄く点灯することを確認して下さい。これで準備完了です。



(リグ本体の正面から見た図)

## 2. (送信の方法)

- ① 切換スイッチ(4)を Comp HIGHにして下さい。(但し周囲のバックノイズが多い場所で御使用の場合は Comp LOWにして下さい。)
- ② ショート QSO の時は P.T.T. を押さえると送信、はなすと受信です。(発光ダイオードの明るさを見ておいて下さい)
- ③ ロング QSO の時は LOCK を押して下さい。送信状態が継続します。LOCK を解除する時は P.T.T. をちょっと押して下さい。受信状態となります。

## 3. (調整)

- ① トークスイッチ(5)の LOCK を押して下さい。発光ダイオードが明るく点灯し、送信状態となっていることを示します。
- ② マイクから10cm位はなれて、普通の声で話しながら、ローカル局にレポートをもらいながら出力調整 VR(7)を最適に調整して下さい。この時注意して頂きたいのは、出力が大きすぎると歪みますので、出力調整 VR を上げすぎないようにお願い致します。
- ③ 調整が finished したらトークスイッチ(5)の P.T.T. を押して下さい。受信状態となります。

## 4. (その他)

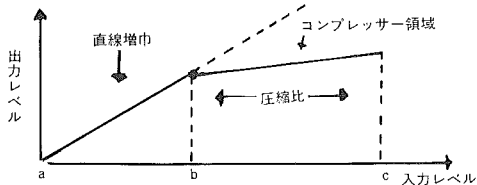
- ① 受信時は殆んど電源を消費(約2mA)しませんが、QSO 終了後は切換スイッチを OFF にするよう習慣づけて下さい。
- ② 長期間(約3ヶ月以上)、QSO をしない時は、電池を本機から取出しておいた方が賢明です。

# コンプレッサーマイクロホン AM-501

## 取扱いのしおり

このたびはアドニス電機のコンプレッサーマイクをお買い頂きありがとうございます。

AM-501は、コンデンサーマイクとコンプレッションアンプとを組合せた高性能のマイクスタンドです。コンプレッサーというのは、音声入力レベルの変化に関係なく出力レベルが一定で、更にひびきのない装置をいいます。すなわち、入力音の大きさによってボリュームコントロールを電気的に行っているわけです。図で簡単に説明しますと、a bまでの入力レベルでは直線増中し、bからcのレベルまでコンプレッションがかかります。そして圧縮比はbの入力レベルとcの入力レベルとの電圧比をいいますが、AM-501は配線図でもごらんのように、極めて巧妙な回路を使用していますので、例えばcomp HIGHでは0.7mVからコンプレッサー領域に入り、しかも50db以上の圧縮比をもっていますから、ささやくような声も、破れるような大声も出力レベルが殆んど一定となります。



Comp LOWでは、3mVからコンプレッサー領域に入りますから、小さい声は普通のマイクと同じように大きな声は垂なく一定の出力がとり出されるわけです。

出力調整ボリュームはComp LOWにしてマイクから10cm位で普通の声で話しながら最適に調整しておきますと（一般のQSOにはComp Lowにしてマイクから10cm位で通話して下さい）Comp HIGHでは相当遠くから話しても正常の変調度が得られます。

### ●御使用の方法

スライドSWをHIGH又はLOWにすると電源が入りLEDが薄く点灯します。

### ●HIGHで使用する場合

音声を小さくして話したい場合とか、マイクロホンから相当離れて話したい場合に使用して下さい。（その時、時計の音、ファンモーターの音、その他外部の雑音等も同時に入ることは御了承下さい）

### ●LOWで使用する場合

マイクロホンの距離が10cm前後のときLOWにします。LOWの状態では普通コンプレッションはかかりませんが大声で話しますとコンプレッションがかかり送信機への過大入力による歪（スプラッター）を防止します。

### ●送受信の方法

LOCKのキーボードを一瞬押すとLEDが明るく輝き送信状態になります。受信にする時はPTTのキーボードを一瞬押すだけで受信状態になりLEDの輝きは半減します。

尚、VOX使用の時は、電源スイッチをON（LOW及びHIGH）にするだけで使用出来ます。

### ●調整方法

出荷時には出力電圧は10mVに、調整してありますが御使用機種によっては調整する場合を考え裏面に出力調整VRの穴があけてありますので3%中のドライバーで注意深くゆっくりと廻して下さい。上げすぎますとスプラッターの原因になる場合がありますので、以下の説明を充分理解して行なって下さい。

### ●ALCメーターのある送信機（S Bの場合）

マイク入力に一定レベルの正弦波信号（口笛等）を入れておいて指定のALCゾーン内に収まるように調整して下さい。

### ●PO ICメーターによる調整

ALCメーターの場合と同様、マイクに一定レベルの信号を入れておき出力調整VRを上げて（時計廻り）いったとき、メーターの指針が上がらなくなった位置が最適レベルです。これ以上上げても指針はほとんど動きません。歪の量が増えるだけです。

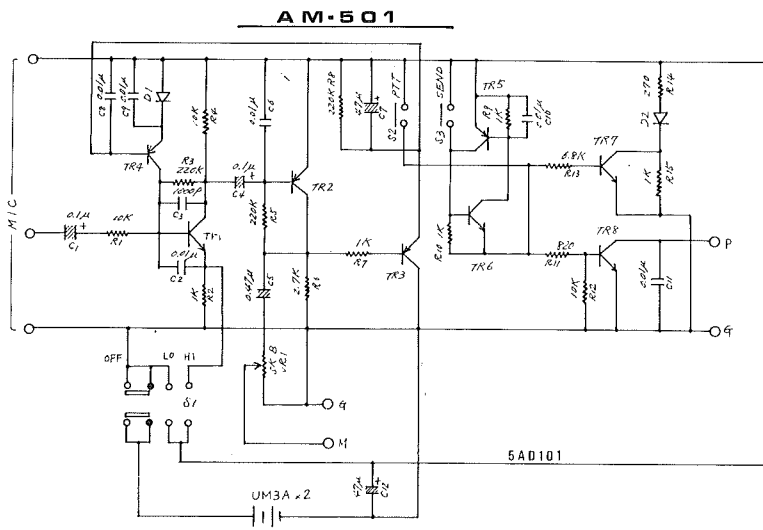
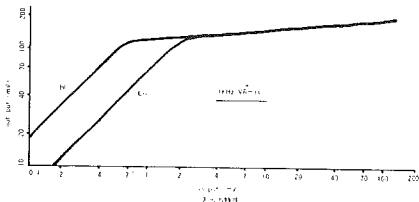
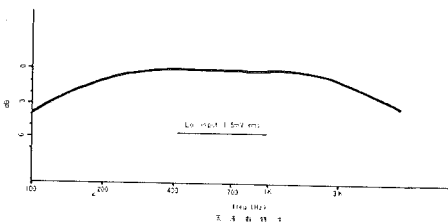
### ●モニターによる調整（FM、AMの場合）

受信機又はローカル局からのレポートにより歪まない程度の音声になるよう調整して下さい。

### ●電池の入換方法

電池の電圧の有無は電源スイッチをON（LOWあるいはHIGH）にした時LEDが点灯しなくなれば交換して下さい。入換の方法は裏面ビス2ヶをとりますと電池の蓋がはずれますので電池ホルダーを引出して単3、2ヶを入換えて下さい。

尚、長時間御使用ならない時は電池を取り出して置いて下さい。



# アドニス電機



〒573-01 大阪府枚方市藤阪2673 TEL0720-58-3352  
 (通販部) 大阪府枚方郵便局私書箱40号